おひさま

発行：社会福祉法人えどがわ
東京都江戸川区松島 1-40-18
発行責任者：田澤　茂

2012年
7月30日
第　4　号

「子どもの好奇心」

社会福祉法人えどがわ
理事長　　田澤　茂
（東一の江幼稚園園長）

子どもは「遊び」から学ぶものがたくさんあります。大人から見れば、蟻の行列や毛虫を長い時間眺めている等のくだらなく、何の役にも立たないことや、ただふざけていたり、目に余るいたずら等、何でこんなものに興味があるのかと思うようなものに異常に関心を持ったりもします。でも、ちょっと見方を変えてみませんか。一見、役に立ちそうもない行動が実は子どもたちのこれからの人生を歩んでいく上の「生きる力」を育んでいるとしたらどうでしょうか。

公園などでは、子どもたちは気の合う仲間と靴やズボンを濡らして、毎日砂場で穴を掘ったり、山や川やダムを作ったり、水を交代で運んで遊んでいます。そこで、大きな山ができれば感動し、川に水が流れればまた感動する。この「感動する気持ち」が、のちの学習する意欲に結びつくのだと思います。まず、この時期は思いきり遊んで、たくさんの感動を受けることが必要なのではないでしょうか。この遊びは指示を出したり、汚すことを咎めたりする大人はいませんので、子どもが自分の意思に基づいて遊んでいます。また、年齢が進めば、経験を自分で得た分、自ら遊び方が上手になってきます。汚れた洋服は、洗濯してあげればきれいになります。また、小さな擦り傷・切り傷は大きなけがの予防にもなります。一度けがをすると次から気をつけようと思いますので、子どもの勲章と思ってください。

大人の指示がない遊びは創造性を養い、生活の中に工夫をすることを学びます。また、何も気にせず、思いきり駆け回ることは、敏捷性を養うことになり、自ら危険を避ける知恵が身に付きます。大きくなって自分の力で生き抜く力が身に付くのです。

命に係るほどの危険が伴わない限り、遊びはできるだけ自由に子どもたちの発想で思い切り遊ばせてあげたいですね。子どもたちは本来、何事にも好奇心旺盛のはずです。白い壁があって、そこに描く素材があれば描きたくなるのが子どもです。障子があれば指で穴を開けたくなるのが子どもです。雪が降れば遊びたくなり、木があれば登りたくなるのが子どもです。この子どもの好奇心を満たしてあげるのが大人の本来の役目のような気がします。しかし、現代社会は子どもの好奇心のまますべてを許すことはできませんが、可能な限り子どもの好奇心を満たす遊びを保障してあげたいものですね。

社会福祉法人えどがわ創立 10 周年記念祝賀会

平成 24 年 6 月 22 日、タワーホール船堀にて社会福祉法人えどがわ創立 10 周年記念祝賀会を開催いたしました。

祝賀会にはお忙しい中、江戸川区長多田正見様をはじめ、江戸川区役所の皆様、私立幼稚園、認可私立保育園の皆様、社会福祉法人えどがわ理事、監事、評議員の皆様、日頃お世話になっている関係各所の皆様、職員と 300 余名を超す出席となりました。

祝賀会では、理事長による挨拶から始まり、来賓の皆様による祝辞、鏡割り、乾杯、職員によるピアノ、フルート、バイオリンによる美しい演奏や力強く逞しいソーラン節演舞などを盛り込み、盛大な祝賀会となりました。

ご臨席くださいました皆様、また祝電等お送りいただきました皆様、ありがとうございました。今までの 10 年に感謝し、これからも職員一同、力を合わせ、何事にも前向きにチャレンジしてまいりますので、社会福祉法人えどがわを宜しくお願いいたします。

10 周年記念祝賀会実行委員

式次第

- 開会のことば
- 理事長挨拶
- 区長祝辞
- お祝いの挨拶
- 鏡割り
- 乾杯
- 余興
  - 楽器演奏
  - ソーラン節演舞
- 職員代表挨拶
- 閉会のことば

「10 周年記念祝賀会を終えて」

社会福祉法人えどがわ
常務理事　　富澤　義夫

6 月 22 日に、「社会福祉法人えどがわ創立十周年記念祝賀会」が盛大に行われました。祝賀会を行うにあたり、江戸川区長多田正見様をはじめ、私立幼稚園、認可私立保育園の先生方、各種関係者様、そして当法人理事、評議員、監事の先生方にご多用の折、ご臨席いただきましたこと深く感謝申し上げます。たくさんの方々がこの法人には関わっておられることを改めて痛感した次第でございます。

ここ数年、法制度や社会状況など保育をとりまく環境が変わってきておりますが、そういった変化などに対して、十分な体力や力量を今後備えていき、この十周年記念祝賀会を私たちは糧としながら、各関係者様や行政と連携や協力を更に頂き、法人の理念に基づき、保育園(現場)とそれをバックアップの役割である事務局とが、更なる連携のもと、車の両輪のよう事業展開を進めていきたいと考えております。

最後になりましたが、今後も、皆様方からのご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

社会福祉法人えどがわ創立 10 周年記念祝賀会

写真提供：ライム写真 和光

おひさまTOPICS

「交流相撲大会」　　葛西おひさま保育園

今年で 21 回目の開催となった交流相撲大会。相撲を通して他の園児との交流を深めると共に子ども達の逞しい身体作りを目的として行っています。現在、区内私立保育園 10 園の 5 歳児(約 250 名)の子ども達が参加し、各保育園で練習を積み重ね、勝つ喜びや負ける悔しさ、「心を 1 つに！」していく団結力・絆の大切さを知り、本当に大きく逞しく成長していきました。

大会当日、子どもたちはもちろんのこと、保育士、保護者も一緒に汗と涙が輝く、熱く、盛大な大会となりました。

友達と切磋琢磨し、助け合い、高め合った経験は一人ひとりの「力」「自信」となり、活躍に繋がったと感じています。この経験が今後の園生活や就学の「糧」になることを心から願っております。（保育士：市原　亮）

「挑戦から学ぶもの」　　春江おひさま保育園

「先生、見て！見て！」嬉しそうに駆け寄ってきます。子どもたちと喜びを共感する瞬間です。

春江おひさま保育園には、保育の取り組みの 1 つに『竹馬の活動』があります。5 月の土曜日、お家の方々と一緒に自分だけの竹馬を作ります。そこから新しい挑戦が始まります。もの作りに没頭し、夢中になる。そして何度も何度も挑戦する。竹馬と向合い、自分と向合い、仲間と共に夢中になる。夢中になって遊びこむ。転んでも、転んでもまた立ち上がり挑戦する。子どもたちの自信に満ちた心の声が聞こえてきます。その経験は、しっかりと次の経験に活かされ、明日の活動に繋がれます。明日の活動とは、まさに生きていく力です。

運動会で、その挑戦を披露します。たくさんの声援とたくさんの笑顔と、そしてたくさんの涙が溢れます。その瞬間に、また次の挑戦が始まります。（園長：竹井　千鶴）

おひさまTOPICS

「園庭でミニ運動会」　　松本おひさま保育園

松本おひさま保育園では、元気にこいのぼりが泳ぐ 4 月 28 日に全園児を対象に「ミニ運動会」が行われました。4 月の新入園児はいつもと違う保育園の雰囲気にびっくりしたのか、泣いていることもありましたが、ダンス・かけっこ・障害物競争等を楽しむことが出来ました。また、行事の中で年長児は、運動会のお手伝いや司会を行い、最年長児としての自信をつけることが出来ました。

天候にも恵まれ、暖かく和やかな雰囲気の会の中、子ども達一人ひとりが、伸び伸び大空を泳ぐこいのぼりのように育ってほしいと願っています。

(保育士：小川　清子)

「個々の発達の取り組み」　　西小岩おひさま保育園

西小岩おひさま保育園では職員教育の一環、また保護者との連携を図ることを目的として、月に 2 回、臨床心理士を配置しています。その取り組みを紹介させていただきます。

私は西小岩おひさま保育園で臨床心理士として活動させていただいております小沼美和と申します。子どもたちと関わっている目的は、保育士の方々が日々、一人ひとりの発達の様子を丁寧にみている中で、子どもの発達について気になることを一緒に考えていくためです。それは、問題があるとかないとかというレッテルを貼るためではありません。子どもに寄り添うからこそ抱える対応の迷いについて、それぞれの子どもが起こすアクションをどう理解するか、どう応えたらよいのか、支援は必要かどうかなど、一緒に考えさせていただいています。

子どもたちをはじめ、クラスの担任の方々に温かく迎えてくださっていただくお陰で、子どもたちとも自然に接することができ、大変感謝しております。お友達同士の触れ合いで子どもたちが成長していく姿に素晴らしさを感じています。今後とも宜しくお願いいたします。(小沼　美和)

葛西おひさま保育園　園長就任挨拶

葛西おひさま保育園
園長　神宮　敦

夏空がまぶしく感じる季節となりました。平成 24 年度がスタートし、約４ヵ月が経ち、園児たちも夏の太陽(おひさま)のように明るく、元気に遊ぶ姿が見られています。

さて、今年度より葛西おひさま保育園前園長藤ノ木博子先生の後任として園長を務めさせて頂きます「神宮　敦(かみや　あつし)」と申します。葛西おひさま保育園の保育目標であります「明るく健康で挨拶がはきはきできる子」「思いやりのある優しい心を育む」「感性を大切にし、伸びやかに表現しようとする子」「心身の発達を見守りながら身体機能の発育を目指す」この４つの保育目標を基に園児たちの心身ともに健やかな成長を育んでまいりたいと思います。また、これまでの葛西おひさま保育園が築き上げた伝統や保育内容等を十分に配慮し進め、自分が指導して頂いた経験を活かし、「安心・信頼・協力」のもと、「心の籠った保育」を進めてまいりたいと思いますので宜しくお願いいたします。

最後になりますが、「社会福祉法人えどがわ」は江戸川区の皆様をはじめ私立幼稚園と認可私立保育園の設置者・園長の皆様が一体となり設立をしてくださいました。そして設立から 10 年が経ちましたが、今後も「感謝」の気持ちを忘れることなく、職員一同、精一杯努力してまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

おひさま会が発足しました

平成 14 年 4 月、社会福祉法人えどがわが設立され、10 年となりました。節目の年を迎え、法人発展のため何が必要か、各園代表職員が話し合いを重ね、おひさま園長会協力のもと、平成 24 年 4 月 1 日おひさま会が発足しました。発足にあたり、ご協力頂いたおひさま園長会、各園職員、関係諸機関の皆様に感謝しております。

おひさま会は、法人職員相互の互助を大きな目的に掲げ、それに伴う福利厚生の充実を目指し、活動していきます。職員同士の親睦を深めながら、職員・法人が共に発展していく為の１つの手段となるよう、継続した会の運営を行い、職員の意見を取り入れた企画を設け、おひさま会を発展させたいと思っています。今後の活動に期待してください。

職員の皆さんの積極的な参加を今後ともお願いするとともに、楽しい会にしていきましょう。

(おひさま会副会長：近藤　祐史)

ボウリング大会の様子

平成23年度　社会福祉法人えどがわ　決算報告

（単位：千円）

貸借対照表 平成24年3月31日現在			
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	487,142	流動負債	75,776
固定資産	459,516	固定負債	49,135
基本財産	49,000		
その他固定資産	410,516	負債の部合計	124,910
		純資産の部	
		基本金	49,000
		国庫補助金等特別積立金	13,989
		その他の積立金	312,288
		次期繰越活動収支差額	446,471
		純資産の部合計	821,748
資産の部合計	**946,659**	**負債・純資産の部合計**	**946,659**

資金収支決算内訳 （自）平成23年4月1日　（至）平成24年3月31日			
科目	合計	本部	施設（12園）
経常収入計	2,056,506	136,568	1,919,938
経常支出計	1,883,225	41,921	1,841,303
経常活動資金収支差額	173,281	94,646	78,634
施設整備等収入計	25,804	0	25,804
施設整備等支出計	16,240	1,791	14,449
施設整備等資金収支差額	9,564	-1,791	11,355
財務収入計	0	0	0
財務支出計	54,679	0	54,679
財務活動資金収支差額	-54,679	0	-54,679
当期資金収支差額合計	128,166	92,855	35,310
前期末支払資金残高	283,201	143,121	140,080
当期末支払資金残高	**411,367**	**235,976**	**175,390**

平成24年度　社会福祉法人えどがわ　予算報告

資金収支予算内訳 （自）平成24年4月1日　（至）平成25年3月31日			
科目	合計	本部	施設（14園）
経常収入計	2,242,496	15,357	2,227,140
経常支出計	2,183,927	15,313	2,168,614
経常活動資金収支差額	58,569	44	58,525
施設整備等収入計	17,765	0	17,765
施設整備等支出計	15,226	0	15,226
施設整備等資金収支差額	2,539	0	2,539
財務収入計	0	0	0
財務支出計	22,405	0	22,405
財務活動資金収支差額	-22,405	0	-22,405
当期資金収支差額合計	38,703	44	38,660
前期末支払資金残高	152,568	1,454	151,113
当期末支払資金残高	**191,271**	**1,498**	**189,773**

リレー随筆

幼い頃から描いていた将来の夢は、保育士とお花屋さん・・・。
今ではその夢が叶い、保育園で働くということができ、うれしい毎日を送っております。もう一つの夢である、お花屋さんの仕事については、今でもお花に触れることは大好きで、四季折々に咲く花を見たり、生けたりしています。

通勤途中の鹿骨おひさま保育園の周辺は親水緑道も多く、目に映る花に心癒されます。今は梅雨の雨を受け、日ごとに色濃くなる紫陽花や香り優しいくちなしの花が見頃です。

そのような光景の中、毎朝すれ違う卒園児がランドセルを背負い元気に登校する姿を見ることがあります。日々の流れの中で年を追うごとに、保育園の時と違い、体はもちろんのこと、ランドセルが小さく感じることがあり、保育園時代に過ごした色々なことが思い出されます。そのような光景の中「先生おはようございます」と声をかけられると、背筋がピンとなり、初心に帰った、夢を追い続け保育士になった時のような、気持ちよい１日がスタートします。

毎日の何気ない風景や触れ合いが私の元気の源にもなっています。

鹿骨おひさま保育園
園長　高橋　宏美

給食の人気メニュー　ハヤシライス

【材料】こども５人分
●豚もも肉 150g●玉ねぎ 1/2 個●人参 1/2 本●油５g
●ｸﾞﾘﾝﾋﾟｰｽ 10ｇ●赤ﾜｲﾝ小さじ２●小麦粉 25ｇ●水 230ｇ
(A)●無塩ﾄﾏﾄｼﾞｭｰｽ 230g●ｹﾁｬｯﾌﾟ 20ｇ●ｳｽﾀｰｿｰｽ大さじ１
●ｺﾝｿﾒ 8g●砂糖 13g●中濃ｿｰｽ８ｇ

【作り方】
①1 玉ねぎは５ミリ程度のｽﾗｲｽし、人参はいちょう切りにする。
②鍋に油をひき、豚肉を炒め、色が変わってきたら①を入れ、しんなりするまで炒める。
③②に小麦粉を少しずつ加え炒め、水を加える。
④③に(A)を加え、弱火で 15 分程度煮る。
⑤ご飯の上にﾊﾔｼﾗｲｽをかけ、最後にｸﾞﾘﾝﾋﾟｰｽをのせる。　提供：株式会社ＬＥＯＣ

編集後記

10 年前、江戸川区の施策に基づき、様々な方々の知恵と工夫により養護・教育・家庭支援という理念のもと、社会福祉法人えどがわとして保育事業が立ち上げられました。国の政策も変わろうとしている今、江戸川区の子ども達が豊かに育っていくことを目的にし、社会福祉法人として地域に貢献できる法人となるよう、更なる努力していきたいと思います。　これからの 10 年を展望して・・・。　　編集委員